

「景観まちづくり刷新モデル地区」の選定について

平成29年3月31日の国土交通大臣記者会見で、みだしのモデル地区に敦賀市が選定されましたので、その概要について下記のとおりお知らせします。(以下、国交省HP掲載情報)

記

1 景観まちづくり刷新モデル地区

- ・ 3年間集中的に整備することでまちなみの景観を刷新させる地区を指す。

【モデル地区では・・・】

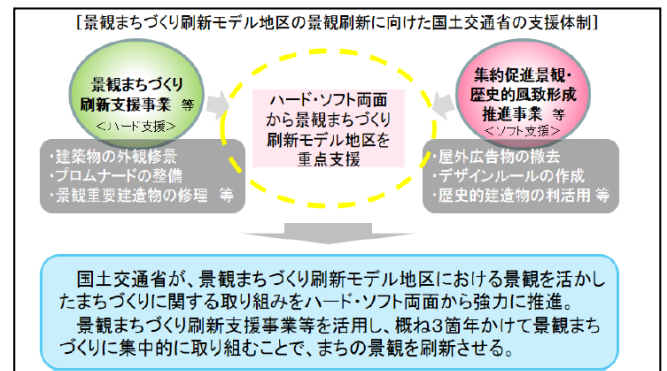
- 景観まちづくり刷新支援事業等を活用した、建築物の外観修景、プロムナード（遊歩道）の整備など、景観資源の保全・活用に関する事業の実施
- 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業等を活用した、景観やまちなみを楽しむための社会実験や景観まちづくりのPR・広報活動など、観光地の魅力向上に資する事業の実施
- 各省庁と連携した支援体制の構築

これらの取組みを通じて、地域の景観資源を活かしたまちづくりを実現する。

2 景観まちづくり刷新支援事業について

「景観まちづくり刷新支援事業」は、平成29年度予算で新規創設した、政府初の景観の面的整備に着目した公共予算です。プロムナードの整備や屋外広告物の集約化など、景観に特化したこれまでにない公共事業の実施が可能となり、建築物の外観修景などの景観を整備する事業に加え、広場や駐車場の整備などのインフラ整備をパッケージ化することで面的な整備が可能となりました。

本事業は、国が指定した「景観まちづくり刷新モデル地区」内で、地方公共団体又は地方公共団体と民間主体により構成する協議会が実施する景観の向上に資するまちづくりに要する費用の1/2を補助するものです。



3 モデル地区（全国10地区）

景観資源の磨き上げによって地域活性化に繋げる「景観まちづくり刷新モデル地区」は次の10地区です。

4 問合せ先

国土交通省都市局 公園緑地・景観課

担当：大木、勝美 TEL 03-5253-8111（内線 32-984）

敦賀市新幹線まちづくり課 TEL 22-8241（内線 330）



福井県敦賀市 ～観光拠点「人道の港」の整備とまちなみ刷新～



敦賀市公認キャラクター
よっしー

敦賀市概要



市域面積: 251.34 km²
人口: 66,842 人
予算規模: 253億円
(H28一般会計当初予算)
財政力指数: 0.969

景観刷新モデル地区概要

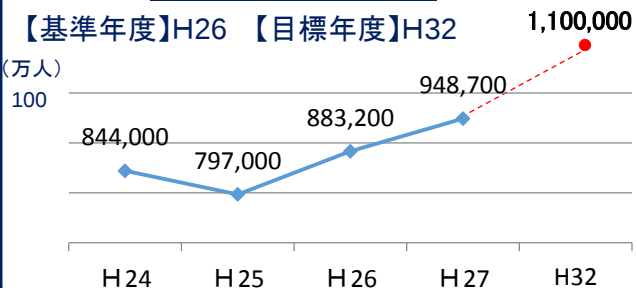
面積: 約1.6km²
主な移動方法: 徒歩、自転車、
周遊観光バス
JR敦賀駅より徒歩(自転車)で
(1)金ヶ崎周辺 30分(10分)
(2)舟溜り地区 30分(10分)
(3)氣比神宮 15分(5分)

3年間で実施する主な事業

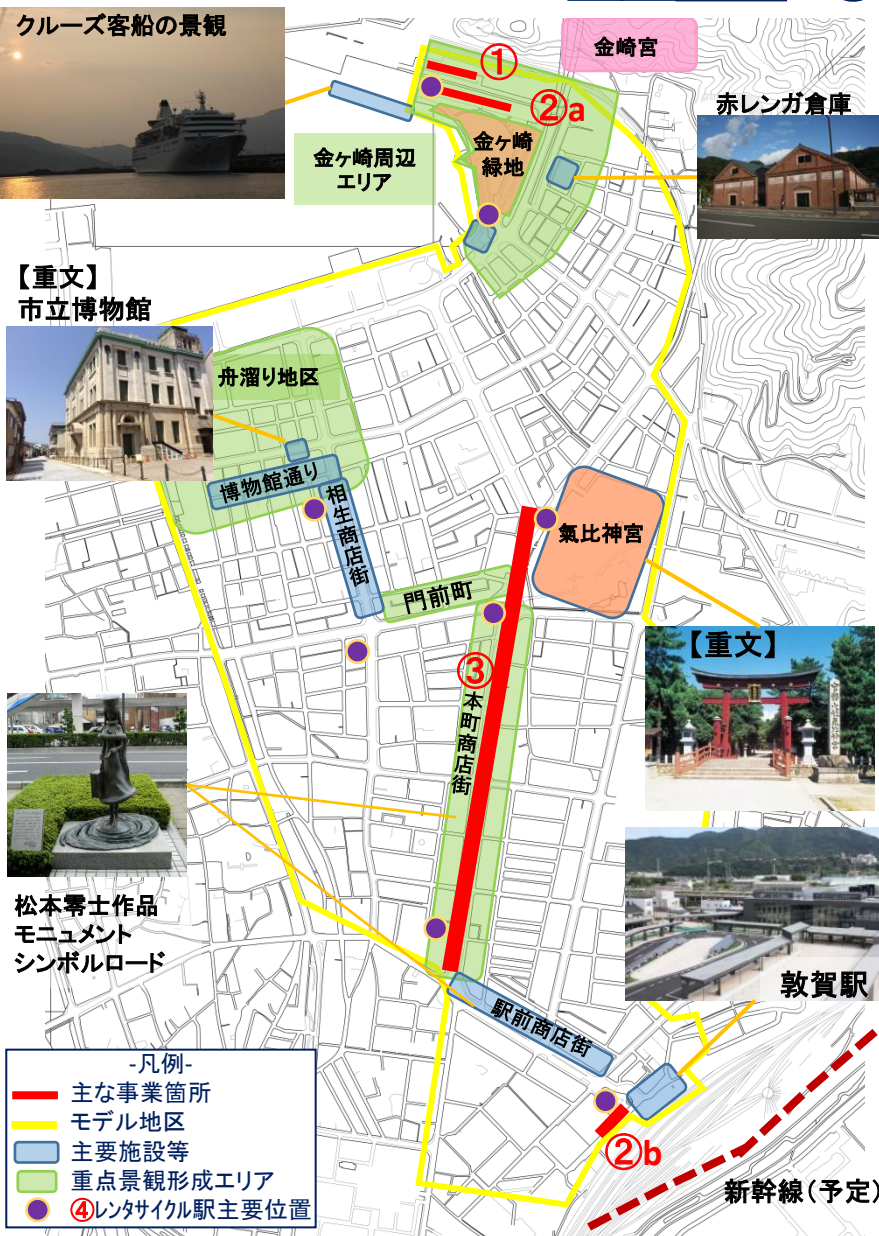
- ①観光交流センター
4棟 A=740 m²
 - ②駐車場の整備 2箇所
a:施設付属駐車場A=6,000m²
b:駅前立体駐車場A=2,600m²
 - ③道路空間美装化 L=800m
アーケード・外観修景 20箇所
 - ④レンタサイクルステーション 11箇所
- 総事業費: 24.63億円
H29年度: 4.965億円(内数)

Ⅱ 受入観光客数の増加

○H27の映画「杉原千畝」公開、赤レンガ倉庫のオープン後、金ヶ崎周辺の観光客数が約10万人増
○本効果を加速させ、エリア内観光客数110万人を目指す。(22万人増、24.5%増)
【基準年度】H26 【目標年度】H32



事業実施箇所及びモデル地区等



Ⅲ 事業の実現可能性

- すでに市民の理解を得ているグランドデザイン(金ヶ崎周辺整備構想等)に沿って事業を実施するため地元住民との調整は軽微なものが多く、事業の実現可能性は極めて高い。
- 特に民間市民団体『敦賀・鉄道と港』まちづくり実行委員会が積極的に同エリア内で活動しており、すでに官民一体的な取り組みが進んでいることから、このノウハウを活かした事業の実施が可能である。

Ⅰ 景観の刷新

①観光交流センター「人道の港」交流施設整備事業(事業費10億円)

金ヶ崎周辺空撮図



大正当時の建築物を復原



整備構想の実現

建設予定地周辺



大正頃の敦賀港



右手奥から税関、駅、商船会社、露船会社の4棟



「整備コンセプト」
敦賀ノスタルジアム
(ノスタルジー+ミュージアム)

③本町通り(国道8号)道路空間美装化事業(事業費約3億円)



【事業概要】
・歩道の美装化 ・景観植栽の充実
・ストリートファニチャー50個程度設置



※地元商店街と協議によりデザインを決定。今後変更あり
※氣比神宮への参道として景観形成を行う。

Ⅳ 景観に関するこれまでの取組状況

- 博物館通り賑わい創出プロジェクト
道路の石畳化、電線地中化、町家建築物テナントミックス事業、朝市の実施、住民によるおもてなし事業「吊るし雛」等



Ⅴ 地域活性化への貢献

- 北陸新幹線敦賀開業(H34年度末)に伴う観光客の受け皿として機能させ、新幹線整備効果を最大に高める。

Ⅵ 民間による取組内容

- 民間団体「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会
・官による施設整備等に合わせた連携イベントを実施する等、ソフト面で重要な役割を果たしている団体
- ・メイン事業のイルミネーション事業では、市民総参加を目指し、市民から回収した家庭用廃油を扱い、運営はすべてボランティアスタッフ(約100人)で冬季50日間におよぶ金ヶ崎緑地でのイベントを実現
- ・夜の景観を演出し55,000人を動員



緑地一体にLED40万球を設置(北陸ランクNo.1)